



陽が沈む時間がどんどん早くなると気温が下がる日が増え、今年は寒暖差が
咳や鼻水など風邪症状やウイルス性胃腸炎といった病気にかかる心配が増えます。
既に全国各地で、乾燥した環境を好むインフルエンザウイルス、ノロウイルス、ロタウイルスなどが
流行しています。うがいや正しい手洗いを心がけ、予防に十分気を付けていきましょう。

定期的に手洗い指導を行い、感染予防に努めています

手を洗う習慣は感染予防の第一歩。

手についたウイルスや菌が口・鼻から体内に入って病気にかかる、次から次へと人に感染してくことを予防します。看護師は手洗い場の排水溝を含めた除菌や清掃を常に行い
お子さんが使ったタオルを共有しないようタオル掛けに欠けたりする配慮をして巡回しています。



紙芝居を使って手を洗う大切さを伝えました



爪の間や手首をごしごしと洗います



石鹸で洗い終わったら十分なすすぎをします

正しい手洗いは時間によってウイルスの残存率が証明されています。 (手洗いなしと比較した場合) 厚生労働省表1 参照

手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス(残存率)
手洗いなし	約 1,000,000 個
流水で 15 秒すすぎ	約 10,000 個(約1%)
ハンドソープで 10 秒 または 30 秒もみ洗い後流水で 15 秒すすぎ	数百個(約 0.01%)
ハンドソープで 10 秒もみ洗い後流水で 15 秒すすぎを 2 回繰り返す	数十個(約 0.001%)